

♪国立国際美術館 ミュージアムコンサート♪

「ウィーンの調べ～ストリング・カルテットとソプラノ・テノール」

主催：(公財)ダイキン工業現代美術振興財団、国立国際美術館

24回目となる今回は、開催中の展覧会「**ウィーン・モダン クリムト、シーレ 世紀末への道**」にちなみ、「**ウィーンの調べ～ストリング・カルテットとソプラノ・テノール**」と題して、ウィーンに関係した名曲の数々をお楽しみいただきます。

東京藝術大学在校生・卒業生四名で構成される新星ストリング・カルテット ラピスラズリが、ウィーンに縁の深いシューベルト作曲の弦楽四重奏曲第13番イ短調「ロザムンデ」から第2、第4楽章を、ともにウィーン留学の経験を持つソプラノ歌手の梅園絵美子さんとテノール歌手の望月哲也さんが、オペラ、オペレッタの名曲に加え、シューベルトの歌曲 セレナーデ、野ばらなどを披露いたします。

本公演は公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団の主催による、国立国際美術館との共催事業であり、同財団招待者および国立国際美術館友の会会員と一緒にご鑑賞いただけます。

★日 時 2019年11月5日(火) 18:30～20:00

17:15 受付開始
17:15～18:20 「**ウィーン・モダン クリムト、シーレ 世紀末への道**」と
「コレクション特集展示 ジャコメッティと II」をご観覧いただけます。

★出 演 ラピスラズリ(四重奏)、望月哲也(Tenor)、梅園絵美子 (Soprano)、
今岡淑子 (Piano)

★演奏曲目 シューベルト 弦楽四重奏曲第13番 「ロザムンデ」より～
モーツアルト：歌劇「魔笛」より～
夜の女王のアリア『復讐の心は地獄のように胸に燃え』
シューベルト：鱒、セレナーデ、野ばら 他 ※曲目は変更になる場合があります。

★会 場 国立国際美術館・地下2階

★入場料 無料 要事前申し込み ※応募者多数の場合は抽選となります。

★定 員 50名

◆応募方法 往復ハガキに(1)～(5)をご記入のうえ、下記の宛先までお申し込みください。

(1) 郵便番号・住所 (2) 氏名(ふりがな) (3) 電話番号
(4) 参加希望人数(2名様まで) (5) 今回の情報をどのように得られたか
※応募はお1人様1枚(2名まで)に限ります。

※2名様でお申し込みの場合は、代表の方1名について上記(1)～(5)をご記入ください。

※返信用はがきには、代表者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

※就学前のお子様の入場はお断りいたします。

◆締 切 10月23日(水)【必着】 ※結果は返信はがきでお知らせします。

◆宛 先 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55 国立国際美術館「コンサート」係

◆注意事項 当日は当館からお送りしたはがきをご持参ください。

※コンサート会場での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用は固くお断りいたします。

◆お問合わせ先 TEL: 06-6447-4680(コンサート係)

※11月5日(火)は休館日となります。当日は本イベントのみ実施いたします。

※当日、レストラン、音声ガイド及びウィーン・モダン展特設ショップは営業しておりませんのでご了承ください。

※お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、本イベントに関する連絡以外には使用いたしません。

プロフィール

カルテット ラピスラズリ

中村友希乃 Yukino Nakamura (ヴァイオリン)

第64回全日本学生音楽コンクール全国大会バイオリン部門中学校の部第3位及び横浜市民賞受賞。第14回クロスター・シェーンタール国際バイオリンコンクール(ドイツ)第1位及びバッハ賞受賞。第6回アンリ・マルトー国際バイオリンコンクール(ドイツ)第2位。日本センチュリー交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、ホーファーフィルハーモニーと共に演。『第22回ヤング・プラハ国際音楽祭』に日本代表としてプラハでのオープニングコンサート及びスメタナ音楽祭、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」等出演。「安宅賞」、「宮田亮平賞」、「アカンサス賞」、「同声会賞」等受賞。石川誠子、小栗まち絵、玉井菜採、堀正文の各氏に師事。現在、東京藝術大学修士2年在学中。相愛高校音楽科特別奨学生、2016~2018年度ヤマハ音楽奨学支援生。

大倉 佳栄 Yoshie Okura (ヴァイオリン)

第64回全日本学生音楽コンクール大阪大会、第9回全日本芸術コンクール関東、関西本選、第4回ヴァスコ・アバジエフ国際バイオリンコンクールにて第1位。第26回摂津音楽祭LCコンクール銀賞、第21回ABC新人コンサート音楽賞、第22回松方ホール音楽奨励賞等受賞。日本センチュリー交響楽団と共に演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。島暢子、小栗まち絵、澤和樹、漆原啓子、漆原朝子、堀正文の各氏に師事。現在、東京藝術大学修士2年在学中。2012~14年度ヤマハ音楽奨学支援生。2019年度宗次エンジェル基金国内奨学金制度奨学生。

塚本 遼 Haruka Tsukamoto (ヴィオラ)

北海道出身。9歳よりヴァイオリンを始める。高校入学と同時にヴィオラに転向。第18回旭川市新人音楽賞受賞。プロジェクトQ第15章等を受講。これまでにヴィオラを市坪俊彦氏、百武由紀氏、店主真積氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。東京音楽大学大学院科目等履修生修了。

松本 征志 Seiji Matsumoto (チェロ)

山形県出身。3歳よりヴァイオリンを始め、7歳の時にチェロへ転向。室内楽、オーケストラなどで活動中。これまでに、花崎薰、山崎伸子、中木健二、苅田雅治の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。



望月哲也 Tetsuya Mochizuki (テノール)

東京藝術大学卒業、同大学院オペラ科修了。

学部在学中に安宅賞、松田トシ賞を受賞。大学院在学中にドコモ奨学金を授与。二期会オペラスタジオ修了。最優秀賞、川崎静子賞を受賞。文化庁派遣在外研修員として、オーストリア・ウィーンに留学。第11回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。第70回日本音楽コンクール第2位。モーツアルトのオペラ作品に数多く出演、「魔笛」タミーノ役でヨーロッパデビュー。近年は、ワーグナーやブッチーなどもレパートリーとしている。2018年6月には上海交響楽団の定期演奏会に招聘され、リヒャルト・シュトラウス「サロメ」ナラボート役で出演。

宗教曲や交響曲の分野では、バッハ「マタイ受難曲」の福音史家の役をはじめ、約40作品以上のレパートリーを有し、著名な指揮者との共演も多い。

二期会会員。大阪音楽大学特任准教授。国立音楽大学、聖徳大学講師。

梅園絵美子 Emiko Umezono (ソプラノ)

桐朋学園大学、同大学研究科修了。

二期会オペラ研修所マスタークラス修了

ウィーン留学。第6回横浜国際音楽コンクール審査員特別賞。コンヴィチュニーオペラアカデミー、モーツアルト作曲オペラ〈魔笛〉夜の女王役。信州国際音楽村モーツアルト作曲〈劇場支配人〉マダム・ヘルツ役。神奈川県民ホール黛敏郎作曲〈金閣寺〉母、女、有為子三役。東京交響楽団定期、飯森範親指揮ウド・ツインマーマン作曲オペラ〈白いバラ〉日本初演ゾフィー・ショルカヴァーバッハ〈カンタータ51番〉ソリストとして都響首席奏者のアンサンブル、ベートーヴェン〈第九〉ソリストとして東響、大フィルなど多数のオーケストラと共に演。東京・春・音楽祭マラソンコンサート出演などオペラ公演やコンサート等で活躍。二期会会員。

今岡 淑子 Yoshiko Imaoka (ピアノ伴奏)

相愛大学音楽学部ピアノ専攻卒業及び同大学ピアノ研究生修了。

片岡みどり氏に師事。ザルツブルグ、シオン各地におけるH・ライグラフ、F・W・シュヌア各氏のマスタークラスを受講。ソリストとして各地でリサイタル、大阪フィル、関西フィルなどとの協演、声楽、器楽、合唱の伴奏者、内外の演奏家と共に演するなど各方面で演奏活動を展開している。ソレイユ音楽コンクール第1位「音楽現代」新人賞受賞、宝塚ベガ音楽コンクール第3位、京都芸術祭優秀共演者賞受賞。

また1997年にはシベリウスの生誕地フィンランドのハメーンリンナにおいてシベリウス協会主催でピアノ2台によるシベリウスの交響曲第2番をシベリウスの曾孫らの前で演奏し好評を得る。現在、相愛大学、武庫川女子大学各音楽学部、兵庫県立西宮高校各講師。京都市立芸術大学声楽科コレティウア。

